

かがわ 産業情報 21

2024
AUTUMN

10

vol.94

年4回発行

成功への道筋が見えてくる！
かがわの産業界の今をお届けする

特集①

「香川県で起業する人を応援!!」
～起業等スタートアップ支援補助金を
活用した起業家の紹介～

Kagawa Industry Information 21

特集②

中小企業デジタル化
推進支援事業の紹介

🌞 かがわ発! 元気創出企業
「株式会社 夢菓房たから」

香川の代表的和菓子「たからのいちご大福」
その躍進を支えるのは菓子づくりへの思い



公益財団法人
かがわ産業支援財団

KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION
<https://www.kagawa-isf.jp>



「香川県で起業する人を応援!!」

① 起業等スタートアップ支援補助金を活用した起業家の紹介

起業等スタートアップ支援補助金とは？

県内で社会的事業分野において、起業、事業承継、第二創業を行う者に対して、その起業等に要する経費の一部を補助(上限200万円、補助率1/2)しています。例年4月末1次募集、6月末2次募集。

株式会社おぎた

(観音寺市観音寺町甲1183-12 TEL:0875-23-7978)

代表者 荻田 明弘

HP : <https://ogita-corp.co.jp/>

高齢者の自宅へ昼・夜2食お弁当を届けるサービスを行っています。他社にはないところとして、無料で見守りサービスを行っています。ひとり暮らしで、毎日の薬を管理できない方も多く、配食の都度、薬を確認したりしています。配達の途中で、倒れて動けなくなったお客様を発見し、救急車を呼んだこともあります。もし、このサービスがなかったら…という場面に遭遇し、お役に立つことができ、やっつけてよかったと感じています。

当初の予定どおりに進まず、困ったこと

当初は資金繰りが大変でした。事業の対象者が高齢の方ということもあり、若者のようにSNSなどで情報を得たりしないので、事業を知ってもらうのが難しかったです。観音寺市の広報誌に載ったことがきっかけで、かなり認知度が高まりました。また、ケアマネジャーからの紹介で配食サービスの利用につながることもあります。そうやって徐々にお客様が増えて、2年かかり、やっと黒字になるところです。

今後の目標

現在は配食サービスですが、もっと地

域の方の役に立てることがあると思っています。高齢になると掃除ができなくて、家や庭が荒れていく方が多いので、まずは掃除サービスの提供等を考えています。ゆくゆくは終活のお手伝いまで、生涯に渡って地域の方に寄り添った事業で町に溶け込んで、認めてもらいたいと思っています。また、他の事業として、古民家で民泊もしています。休みの日にゆっくりくつろげる場所を提供したいと考え始めました。

(巡りの宿夕波(villa-yunami.com))

起業等スタートアップ支援補助金を受けてよかったこと

当初は商工会議所から案内があり、自分が行う事業は間違っていない、胸を張れる事業だと思い、この補助金の申請をしました。申請のための事業計画書を作成する過程で、自分の事業を見直すことができたことがよかったです。また、店舗の内装費用の一部を補助してもらい、本当に助かりました。

これから創業する人に向けて

事業計画を自分で考えることはとても大事だと改めて感じました。理想と現実を見て、1から自分の事業を見直すことは、事業を進めていくうえでとても重要です。

そのきっかけとなるこの補助金に、ぜひチャレンジしてほしいです。



荻田代表



株式会社おぎたのHP

普通食



高齢者向けの栄養バランスや食べやすさはもちろん、食料の安全や食の楽しみにもこだわって調理しています。

- 1 南瓜のクリーミーサラダ
甘くておいしい南瓜をクリームにサラダ仕立てにしました。
- 2 イカと野菜の煮物
やわらかいイカと色とりどりの野菜を煮物にしました。色鮮やかな野菜の煮物をそそらせます。
- 3 青菜と干しエビの炒め物
青菜と干しエビの相性がパツパツの炒め物です。

お弁当の例

CONTENTS

2024年10月 vol.94 発行(年4回発行)

かがわ産業情報 21 10

特集①

「香川県で起業する人を応援!!」……………1

特集②

中小企業デジタル化推進支援事業の紹介……………4

支援事例紹介

香川県よろず支援拠点での支援事例の紹介……………5

機能性表示食品の届出支援事例の紹介……………5

令和6年度 成長型中小企業等研究開発支援事業に採択……………6

財団の活動報告

第29回 機械要素技術展[東京]に出展……………7

財団からのお知らせ

令和6年度 高度産業人材育成事業(IT研修)受講者の募集……………7

香川大学大学院地域マネジメント研究科ビジネススクール公開講座

「地域の中小企業と経済活性化」受講者の募集……………8

INPIT香川県知財総合支援窓口の紹介……………9

海外展開で忘れてはならない知的財産……………10
～活用とリスク対策のポイント～

国際取引相談窓口の紹介……………10

「知財マッチングinかがわ 2024」参加者の募集……………11

「令和6年度 関西・四国合同広域商談会」受注企業の募集……………11

かがわ糖質バイオフィォーラム第16回シンポジウムの参加者募集……………12

微細構造デバイス研究開発フォーラム令和6年度セミナー・見学会の参加者募集……………12

かがわ産! 元気創出企業

香川の代表的和菓子「たからのいちご大福」
その躍進を支えるのは菓子づくりへの思い

「株式会社 夢菓房たから」……………13

株式会社 KOKI BREWING MITOYO

(三豊市仁尾町仁尾丁198-1 TEL:0875-89-1877)
代表者 三浦 功喜
HP : <https://koki-brewing.com/>
Instagram: minnade_brewery

半農半Xの研修で三豊に来て、ブルワリーをやったらどうかとプレゼンしたら、多くの人に賛同いただき、計画がどんどん実現化し、東京から移住して、クラフトビールの製造販売を行っています。ペールエールという種類のビールを「みとよペールメール」として販売しています。県内の桃農家さんから規格外の桃を仕入れたので、当初計画していた「地元のフルーツを使用したクラフトビール」として仕込んでいこうと思っています。

当初の予定どおりに進まず、困ったこと

補助金を活用しましたが、店舗工事が予定通り進まず、補助金の事業期間内に終わらせられなくなりそうで困りました。

また、仁尾町は人口が減っており「人はいないだろうな」と予想はしていましたが、想定以上に人通りがなく、営業日にひとりも来客がない日もあり、広告が足りていないと感じることもあります。

近くの宿泊施設にPRし、宿泊客の方がよく来てくださります。

今後の目標

自分で作ったビールを店で提供するだけでなく、樽で作って、他店に卸し、広めていきたいと思っています。また、瓶詰にして、いろいろなお店に置かせてもらい、お土産に購入してもらえれば、お店の宣伝にもなると思います。売上が上がれば人を雇っていきたい。店舗の2階を、ビール作りを体験できる、安く泊まれる宿にしたいとも考えています。

起業等スタートアップ支援補助金を受けてよかったこと

この補助金がなければ、空家の改修がこのようにできず、事業はできなかったと思います。また、創業資金の融資を受ける際に、この補助金の採択を受けていることが後押しになったと思います。

これから創業する人に向けて

補助金の申請書を作る過程で、自分の事業をちゃんと見直し、語る場所があることはとても良い経験となったと思います。もし採択されない場合は、自分の事業を見直さなくてはならないという気づきにもなると思います。



三浦代表



みとよペールメール



空家を改修した店舗

manowa.

(東かがわ市小磯742-2 TEL:0879-49-3452)
代表者 吉鷹 知美
HP : <https://manowa489.com/>
Instagram: manowa_kagawa

主に焼きドーナツ、ドリンクの販売と、地域のマルシェで地域の方が作ったものを販売し、その売上で併設している子育て支援のスペースを運営しています。

当初の予定どおりに進まず、困ったこと

計画では、若い人、子育て世代に来てもらうことを想定していましたが、高齢の方が多くエリアでもあり、仏壇のお供えや手土産にといった思いがけないニーズがあり、たくさんの方のリピートで来てくださっています。主にSNSで情報を発信しているので、高齢の方の多くがSNSをやっておらず、休日のお知らせなどが届かなくて困りました。今は、高齢の方には、営業日のお知らせを紙で配って対応しています。

今後の目標

今は、やりたかったことが少し形になってきました。市内にある障がい者の福祉作業所で作られた野菜や、子育てママが作るハンドメイドベビー用品などをマルシェで委託販売し、その売り上げの一部で子育てオープンス

ペースを運営し、みんなの力が循環する場所として見える化できてきました。地域の人たちが誰でも参画できて、自分たちの仕事で誰かが喜んでくれるということを実感できる場所を、もっと可視化できる仕組みづくりをしたいです。

起業等スタートアップ支援補助金を受けてよかったこと

店舗のリノベーションに補助金を活用できたことは大きかったです。また、補助金だけでなく、創業後も伴走支援を受けられ、「最近どう？」と気にかけてくださるのが心強いです。そういった声かけによって、忙しくしている日々の中でなかなか向き合えない小さな課題を洗い出す機会をもらえているなと思っています。

これから創業する人に向けて

計画段階では「初期にそんなに投資して大丈夫？」とか「高齢者が多い地域で子育て支援をするの？」という否定的な意見もありました。実際は、客層も客単価も計画とは違って、やってみないと分からない!と実感しています。自分の「思い」を聞いてくれる人を大事にしながら、自分の叶えたい「思い」を小さくても実現してほしいです。



吉鷹代表



地域のマルシェ



子育て支援スペース

2 令和6年度 かがわ創業塾を開講

県内での創業を支援するため、昨年度に引き続き、令和6年度「かがわ創業塾」を開講しました。

今年も、合計5日間(8/2、8/9、8/23、8/30、9/6)、創業に必要な基礎知識やノウハウなどを、体系的に習得しながら、先輩創業者(株)Japan Fruits 高尾 明香里氏と交流しました。

最終日には、創業計画書を実際に作成しました。

講演を聴講した塾生からの感想

「時代背景にあった経営に向けての考え方や事例紹介をいただけてよかった。」
「事業を行うにあたって分析を行い、強みや弱みなどを理解することが必要だとわかった。」

先輩起業家の講演を聞いた感想

「リアルな体験を聞いて、創業のイメージができた。」
「ブレない軸を持って、ビジネスを持続する必要性が参考になった。」

創業計画書策定演習後の感想

「改めて自分の考えを書面にすることで、事業を整理できてよかった。」
「自分の創業計画に対し、他の人から意見がもらえて有意義だった。」

本塾は、平成27年度から毎年開講しており、今年度参加の30名を含め、述べ380名の方が受講しています。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

3 香川県スタートアップスクエア事業 入居者の募集

香川県では、県経済を牽引するようなスタートアップを創出し、起業地としての香川の魅力をより一層強化するため、「香川県スタートアップスクエア事業」において、香川インテリジェントパークを県内起業家の集積地とすることを目指しています。

ついては、創業後5年以内の事業者及び創業後5年を超え10年以内であって事業の多角化を行う事業者等を対象に、令和6年4月以降に起業家向けのオフィスに新たに入居する場合は、5年間使用料を減額(1年目:90%減額、2年目:70%減額、3年目:50%減額、4年目:30%減額、5年目:10%減額)しますので、是非、ご活用ください。

ネクスト香川

一般型インキュベート工房

募集
1室

新技術や新製品の開発を目指す企業や新規創業される方に最適なスペースを提供する固有施設

入居資格：創業5年以内かつ創業若しくは新事業の開拓を目的として新技術等の研究開発を行う者又は情報処理関連事業の研究開発を行う者(詳細はお問い合わせください)

入居期間：3年間(最長13年間)

部屋数：10室(約64~137㎡)

無料駐車場：部屋の大きさにより2~4台

賃料：1,560円/㎡・月(5年目まで)
(減額を受ける場合の1年目概ね156円/㎡・月)
1,870円/㎡・月(6年目~)

光熱水費：実費

ネクスト香川

情報通信型インキュベート工房

募集
1室

情報処理関連事業を営もうとする企業等に活動の拠点を提供する固有施設

入居資格：利用を開始する時点において、情報処理関連事業を新たに営む者又は新たに営んだ日以降5年を経過していない者若しくは新分野へ進出しようとする者等(詳細はお問い合わせください)

入居期間：3年間(最長5年間)

部屋数：4室(約15~30㎡)

無料駐車場：各室1台

賃料：1,560円/㎡・月
(減額を受ける場合の1年目概ね156円/㎡・月)

光熱水費：実費

その他：インターネット無料接続

香川産業頭脳化センタービル

ITスクエア

募集
2室

ITを活用した事業の創業、新分野進出、新サービスや新製品の研究開発などに取り組むためのスモールオフィス

入居資格：ITを活用する者であって創業5年以内の者又は創業後5年を超え10年以内であり事業の多角化を行う者。(詳細はお問い合わせください)

入居期間：1年間(最長10年間)

部屋数：11室(約6.5㎡)

無料駐車場：各室1台

賃料：20,950円/室・月(5年目まで)学生は15,710円/室・月(同上)
(減額を受ける場合の1年目2,090円/室・月(学生は1,570円/室・月))

光熱費及び共益費：賃料に含む

その他：インターネット無料接続

*各施設とも、入居希望月の前月下旬までに行うプレゼンテーションを伴う、入居審査により入居を決定します

申込みに関するお問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-840-0391 <https://www.kagawa-isf.jp/>

各施設に関するお問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 施設管理課
高松市林町2217-15 TEL.087-869-3700 <https://www.kagawa-isf.jp/>

中小企業デジタル化推進支援事業の紹介

① IT専門家が企業を訪問し課題を解決!

(実際にデジタル化に取り組んだ事例を紹介)

かがわ産業支援財団と香川県では、中小企業デジタル化推進支援事業を実施しています。当事業では、デジタル化の成功事例を紹介するセミナーを開催するとともに、個別相談を希望する企業様には、IT専門家が訪問し、経営課題や予算等を伺い、実情に応じたデジタル化を提案、事業や事務の効率化、生産性の向上を目指しています。

今回、実際にデジタル化に取り組んでいただいた3社の事例と、次回開催のセミナーを紹介します。

A社の事例

原価管理と営業管理のデジタル化

当時の状況

四国4県で営業しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全地域で大幅に売上が減少。経営の体質改善のためにも、製造工程ごとのコストの見える化や販売管理システムの改善が急務であった。

支援内容

経営環境の分析、経営課題の抽出、営業情報を管理する仕組み構築の支援を実施。今後は、蓄積されたデータを分析するスキル向上、また、製造工程ごとのコストの見える化を実現するためのシステムの導入を目指している。

B社の事例

若手社員の育成と営業ツールとしてのデジタル活用

当時の状況

若手社員の定着とデジタル技術を活かした営業提案ができる社員育成が課題。(多忙で、若手社員への十分なフォローができず、モチベーションが低下し離職者が発生。これにより、さらなる人手不足となるという負のループに陥っていた。)

支援内容

経営環境の分析、経営課題の抽出、RPAの導入、ChatGPTを活用した若手社員育成などを実施。これらの支援を通じて、業務の見直しや効率化を進め、若手社員の育成及び定着率の向上を目指している。

C社の事例

クラウドシステムで情報を効率的に管理

当時の状況

情報の一元管理(システム間のデータ連携)やシステムの使い勝手に問題があり、また、データ量も多く、入力作業に時間がかかっていた。

支援内容

情報の一元管理ができる仕組みの構築を目指し、既存システムの機能調査からスタート。データの連携と管理の自動化による業務効率を改善する仕組み・体制を構築。

今後は、SNS等の活用による新規顧客獲得等の活動を強化していく。

R6年度のIT専門家派遣(デジタル化の個別相談)

あと残り7枠
お急ぎください

[https://www.kagawa-isf.jp/
support/soudan/digital-suishin/](https://www.kagawa-isf.jp/support/soudan/digital-suishin/)



専門家相談の様子
(写真はどちらもイメージです。
写真の企業様と事例紹介の企業様は異なります。)



② 次回セミナー参加者の募集

・クラウドツール活用セミナー～kintoneによる情報の見える化と社内活性化～

講師:株式会社乗富鉄工所 代表取締役 乗富 賢蔵 氏

・令和6年10月10日(木)13時30分～15時 ZoomもしくはYouTube live

<https://www.kagawa-isf.jp/event/11300/>



申込に関するお問い合わせ先

運営事務局:特定非営利活動法人ITCかがわ
(中小企業デジタル化推進支援事業 業務委託法人)
申込先:メール.info@itck.jp FAX.087-883-6565

特定非営利活動法人 ITCかがわは、多彩なネットワークと高い知識を持った経営改革のプロフェッショナル集団です。情報化等に関する御相談がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

事業に関するお問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9901 FAX.087-869-3710 メール.kikaku@kagawa-isf.jp

香川県よろず支援拠点での支援事例の紹介

- テーマ** エステサロンの香水開発・物販事業による業績回復
- 相談者** スターセンス株式会社 (店舗名:SENSE DOOR_) 代表取締役 森 みどり 香川県高松市番町2-6-14 TEL:087-821-3808
- 課題** コロナによってエステティックサロンの売上はコロナ前の70%まで落ち込み、物販事業拡大のため取り組んだ、新規事業の香水の開発・販売についての相談であった。目標として「物販事業の売上高をサロン事業と同水準に引き上げる」に設定し、早急に内・外部環境の分析を実施した。「資金繰りの改善」と「香水の販路開拓」を課題とし、事業計画作成と金融機関からの追加融資に取り組むこととした。
- 支援内容** 新規融資先との関係性を構築するなどし、新たな販路を開拓。また、商品専門サイトの構築・運営、インスタグラムの利用開始、瀬戸内国際芸術祭に合わせ、直島行きフェリーでの広告、プロモーション動画作成に取り組んだ。さらにブランディングに重要な商標登録も行った。
- 支援のポイント** 事業計画、資金調達がゴールにならないよう、着実にPDCAをまわしていくよう伝え、定期的な進捗確認の場として当拠点を活用することを提案した。計画通りに進まない場合でも、代案を提示していくことを心掛けた。社会情勢が不安定であったので、状況に応じ柔軟に対応するようアドバイスした。
- 成果・現況** ブランド香水のオンラインショップ「カラリア」にも登録(審査あり)し、売上を伸ばした結果、目標月商を達成し、物販全体の売上が、事業全体の44%を占めることとなった。
- 相談者の声** 資金繰りの安定と計画に基づいた販路開拓等で月商の目標も達成できました。最初は都度の相談でしたが、現在は定期的に相談を行い、事業の進捗管理の場として活用させていただいています。そのため、実際に商品の売上は大きく伸びてきています。また補助金情報なども定期的に取得でき、ブランディングの費用負担の軽減もできました。複合的な支援をいただき、小さくとも着実に成果が出ることを実感できています。



SENSO del MARE

店舗

四国汽船でのディスプレイ広告

お問い合わせ先

香川県よろず支援拠点 高松市林町2217番地15 香川産業頭脳化センタービル2F
TEL.087-868-6090 FAX.087-869-3710 メール.yorozu@kagawa-isf.jp

機能性表示食品の届出支援事例の紹介

当財団が設置している「新機能性表示食品開発相談センター」が消費者庁への機能性表示食品の届出を支援し、下記の内容で届出が完了し機能性表示食品として製造販売されている4商品を紹介いたします。

これまでに全国で8,800件以上の商品の届出が完了されていますが、県内企業の届出商品は今回の商品を含めて58件となりました。うち35件は当財団が支援しました。

商品名	大麦十希少糖 レンジDE蒸しパン	金の穂ロコモトリプル プラス1	CHARANY(チャラニー)	国産ライチ
事業者名	吉原食糧(株)	(株)さめき健康本舗	(有)味源	(株)四国総合研究所
届出日	令和5年11月13日	令和6年1月19日	令和6年3月25日	令和6年5月2日
機能性関与成分	アルロース、大麦β-グルカン	クルクミン、タマリンド由来プロアントシアニン、大豆イソフラボン、ブラックジンジャー由来ポリメトキシフラボン	難消化性デキストリン(食物繊維)	GABA(ギャバ)
機能性内容	◎脂肪の燃焼を高める機能 ◎糖の吸収を抑えて食後の血糖値の上昇をおだやかにする機能	◎膝関節サポート(クルクミン、タマリンド由来プロアントシアニン) ◎骨成分維持(大豆イソフラボン) ◎歩行力維持、腹部脂肪減少(ブラックジンジャー由来ポリメトキシフラボン)	◎中性脂肪の上昇を抑える ◎血糖値の上昇を抑える	◎肌の健康を守る ◎ストレス(疲労感)軽減 ◎高めの血圧を下げる
1日摂取目安量	1袋(60g) アルロース5g、 大麦β-グルカン1.1g (いずれも加熱後)を含む	4粒 (1日あたりの含有量) ・クルクミン6.25mg ・タマリンド由来プロアントシアニン162.5mg ・大豆イソフラボン23.3mg ・ブラックジンジャー由来ポリメトキシフラボン12mg	1本(20g) (難消化性デキストリン(食物繊維)5g含有)	・可食部70g(3~4個)を食べると、肌の健康を助けるために1日に摂取すべき機能性関与成分の50%を摂取可能。 ・可食部20g(1~2個)を食べると、精神的ストレスや疲労感を緩和させるために1日に摂取すべき機能性関与成分の50%を、高めの血圧を低下させるために1日に摂取すべき機能性関与成分の70%を摂取可能。
販売開始	令和6年7月23日	令和6年9月1日	令和6年7月1日	令和6年7月27日
商品パッケージ				

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ1F TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

令和6年度 成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech 事業)に採択(事業管理機関:財団)

令和6年度Go-Tech事業の公募では、当財団が事業管理機関として申請した2件が採択されました。全国では228件(通常枠)の申請があった中から114件(四国からは3件)が採択されました。

採択された事業

研究等実施機関 **大同ゴム株式会社・国立大学法人信州大学**

事業名 **カーボンニュートラルで耐久性が高い工業用ゴムホースの実用化技術の開発**

研究開発の概要

工業用ゴムホースの市場では、高い耐久性を持ち、カーボンニュートラル対応の製品が望まれています。そこで、工業用ゴムホース製造のトップメーカーである大同ゴム株式会社は、信州大学と共同で、天然ゴムに補強用フィラーとして天然素材のセルロースナノファイバーを混合した、ほぼ100%カーボンニュートラル対応可能な耐久性の高い複合材料創製技術を開発し、その技術を用いた「カーボンニュートラルで耐久性が高い工業用ゴムホース」の実用化技術を開発します。



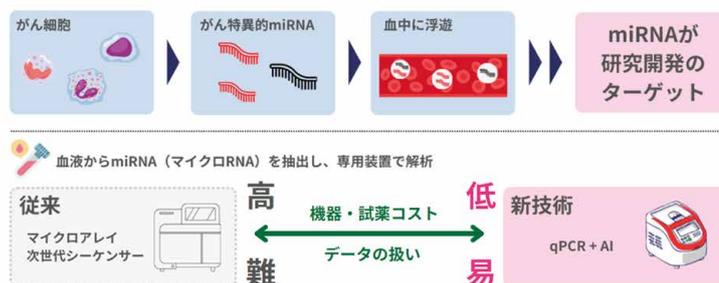
工業用ゴムホースの実用化技術の開発の概要

研究等実施機関 **合同会社Setolabo・国立大学法人香川大学**

事業名 **がんの早期発見を可能にする血中miRNAを用いたqPCR検査によるがん検診技術の開発**

研究開発の概要

がん治療技術が進歩する一方で、先進国ではがんが主要な死因となっており、がんの検診を革新する技術の開発が求められています。そこで、遺伝子検査技術を持つ合同会社Setolaboは、がん細胞が分泌する特定の血中miRNAに焦点を当て、これらをqPCR検査で検出できるように香川大学医学部と共同で、1回の採血で多種類のがんが高精度かつ格安で超早期発見できる検査技術を開発します。



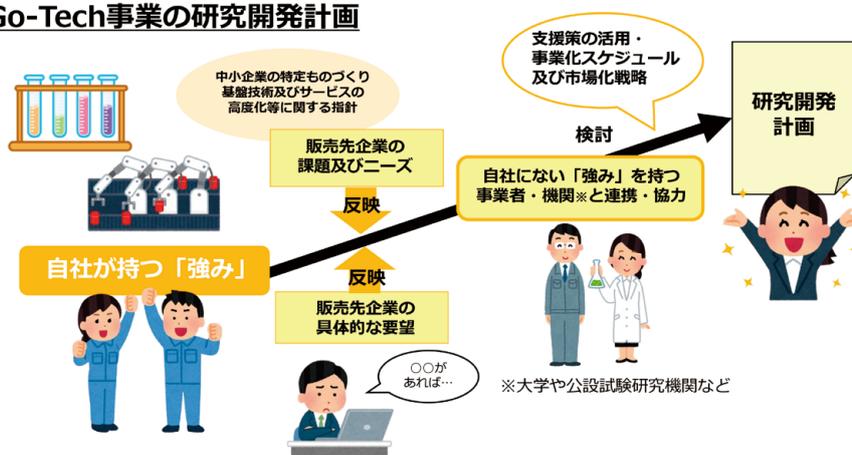
がん検診技術の開発の概要

Go-Tech事業とは

中小企業等が持つ強みを活かし、研究機関と共同で実施する、事業化につながる可能性の高い研究開発を最大3年間支援する事業です(経済産業省管轄)。補助金額は、3年度の総額で9,750万円以下です。

公募は毎年2月中旬から4月中旬頃に実施されます。申請書類の作成には多くの時間を要します。申請相談は、随時受付しておりますので、詳細はお問合せください。

Go-Tech事業の研究開発計画



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 研究開発支援課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

第29回 機械要素技術展[東京]に出展

香川県の主要な産業である、ものづくり基盤技術産業の振興を図り、成長分野等(エネルギー・環境関連、ロボット関連、自動車関連など)への進出を支援する取組みとして、日本最大級の専門技術展「第29回機械要素技術展[東京]」(東京ビッグサイト)に、香川県ブースを出展しました。

会期 令和6(2024)年6月19日(水)～21日(金)

会場 東京ビッグサイト(東京都江東区)

来場者数 約7万人(同時開催展来場者を含む)

主催 RX Japan(株)

展示会概要 軸受、ベアリング、ねじなど機械要素や金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた日本最大級の専門技術展



▲技術展の様子

【出展者】

出展企業	所在地	出展物等
(株)コヤマ・システム	高松市	・レーザー溶接リアルタイム計測システム ・溶接不具合監視・長時間記録システム 等
サンコー(株)	高松市	・LOCK ONE ・モーションタイト 等
高木綱業(株)	高松市	・高機能繊維ロープ ・高強度型絶縁ロープ ・変形コーティングロープ ・複合化超高分子量ポリエチレンロープ ・静電気除去ロープ 等
高松帝酸(株)	高松市	・フッ素ガス表面処理品 ・フッ素ガス表面処理技術 ・繊維強化プラスチック材料接着前処理技術 等
(株)長峰製作所	まんのう町	・金属多孔質体 ・精密セラミック製品 ・ハニカム触媒、吸着材 等
橋本特殊工業(株)	高松市	・超硬合金チップソー 等
バリオスター(株)	高松市	・三相非常用電源 ・オフグリッド蓄電池 等
(株)プロテック	高松市	・高精度機械加工部品 (半導体製造装置関連、航空機関連) 等
明興産業(株)	丸亀市	・各種樹脂(主に熱硬化性樹脂)の機械加工品 等
(株)レクザム	小豆島町	・超精密絞り加工 ・微細微小プレス加工 等

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 研究開発支援課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

財団からのお知らせ

令和6年度 高度産業人材育成事業(IT研修)受講者の募集

主催 :公益財団法人かがわ産業支援財団

コース区分	コース名	定員	日数	研修概要	受講料・教材費 円(税込)	受講対象者	日時	会場	
マネジメント	① プロジェクトマネジメント								
	M012	「プロジェクトマネジメント演習」 筑波大学 ビジネスサイエンス系 准教授 木野 泰伸 氏	15	3日	事例や演習を通じて、プロジェクトマネジメントに必要なコンピテンシーを体験的に学ぶ。	7,150	プロジェクトメンバー、プロジェクトリーダーなどプロジェクトに関わる方及びプロジェクトと協働される方	10/30-11/1 9:00~17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
ソリューション	⑤ VRコンテンツ制作⇒生成AI								
S051	「生成AI活用講座」 株式会社DynaxT 古川 友樹 氏 永山 和樹 氏	15	2日	【概要説明】 ●生成AIの動向と、LLM(大規模言語モデル)はどのような社会的な意味があり、どう利用すべきか。 【実習】 ●Pythonでプログラムを作成し、生成AIを自社用にカスタマイズします。(ベクターDBの利用とファインチューニングなど) ※ChatGPTを自社業務に特化するようにカスタマイズする手法について紹介する。(プログラミングコードの作成もChatGPTを活用)	4,950	Pythonの基礎知識、又は何らかの言語でプログラミング経験がある方。 ※パソコンの持ち込みが必要(Python3.9以降が動作)	11/19,20 9:00~17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室	

【会場】香川産業頭脳化センタービル1階 専門研修室(高松市林町2217-15) <https://www.kagawa-isf.jp/access/>

【お申込み方法】 ●お申込み期限は、受講開始日の原則2週間前までです。

●各コースとも定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。

●申込フォームからお申込みください。 <https://kagawa-isf.form.kintoneapp.com/public/itkenneyuur6mousikomi>

申込フォームから
お申込みください。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9901 FAX.087-869-3710 メール.kikaku@kagawa-isf.jp

香川大学大学院地域マネジメント研究科公開講座 「地域の中小企業と経済活性化」受講者の募集

公益財団法人かがわ産業支援財団と香川大学大学院地域マネジメント研究科は、地域を担う若手人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による公開講座「地域の中小企業と経済活性化」を開講します。事前申込みによりどなたでも受講できますので、皆様の御参加をお待ちしております。

日時 講座概要一覧のとおり

時間 18:20～19:50(90分間)

場所 香川大学 幸町南キャンパス
又信(ゆうしん)記念館1F 特別講義室(高松市幸町2-1)
※開催場所の講義室が変更になる場合があります。

開催形態 公開講座(地域マネジメント研究科の学生に加えて、一般公募の申込によりどなたでも受講できます。)
※定員50名

受講料 無料

申込方法 香川大学大学院地域マネジメント研究科
HPからお申込みください。

申込先 香川大学大学院地域マネジメント研究科(高松市幸町2-1)
TEL:087-832-1955 FAX:087-832-1900
(祝祭日、大学の休校日を除く平日12:00～18:00)
メール:contact-b@kagawa-u.ac.jp
HP:<http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp>



▲昨年度講義風景



【講座概要一覧】

	日程	講師	講義概要
第1回	令和6年10月8日(火)	公益財団法人かがわ産業支援財団 理事長 近藤 清志	地域活性化の政策と実践
第2回	令和6年10月15日(火)	泉鋼業株式会社 代表取締役社長 富家 孝明	中小企業の事業継承と企業買収を用いた成長
第3回	令和6年10月22日(火)	一般社団法人希少糖普及協会 代表理事 早川 茂	希少糖の産学官連携事業から商業展開への道のり
第4回	令和6年10月29日(火)	株式会社朝日通商 代表取締役社長 後藤 耕司	ソーシャルエンタープライズとしての戦いと戦略
第5回	令和6年11月12日(火)	中西産業株式会社 代表取締役 中西 一宏	(演題未定)
第6回	令和6年11月19日(火)	日美株式会社 代表取締役社長 香川県家具商工業協同組合 代表理事 白井 正人	反抗から生まれるイノベーション スタッフの個性を活かす経営革命
第7回	令和6年11月26日(火)	吉原食糧株式会社 代表取締役社長 吉原 良一	「うどん用ハイブリッド小麦粉の全国市場開拓」+ 「県産大麦使用“機能性”粉体製品によるヘルスクエア市場の開拓」 ～企業成長のための推論と実践～
第8回	令和6年12月3日(火)	株式会社キウイボム 代表取締役社長/株式会 社中野建設興業 代表取締役社長 中野 裕史郎	創業と承継のはざままで。。 継続していくということ!!
第9回	令和6年12月10日(火)	松浦産業株式会社 取締役副社長 松浦 英樹	～私たちは、幸せを運んでいる～ 松浦産業の弱者の戦略とは
第10回	令和6年12月17日(火)	株式会社中野屋 代表取締役 羽藤 裕子	観光現場の視点から
第11回	令和6年12月24日(火)	有限会社高島産業 代表取締役社長 高嶋 浩司	ドバイへGO!
第12回	令和7年1月21日(火)	株式会社サニーサイド 代表取締役社長 多田 周平	「個性が共生し調和が発展を生む」から生まれる 輝く人と地域
第13回	令和7年1月28日(火)	株式会社FUJIDAN 代表取締役社長 hacomo株式会社 取締役BOSS 一般社団法人香川経済同友会 副代表幹事 東かがわ市商工会 前会長 本田 展稔	日本をアッと驚かせるおもしろい会社をつくらう!
第14回	令和7年2月4日(火)	仁尾興産株式会社 専務取締役 高橋 寛栄	社員の自己実現を目指す経営方針 ～当たり前と退屈を排除する～
第15回	令和7年2月7日(金)	高松パレス株式会社(ザ・チェルシー)代表取締役 株式会社ネクスト 代表取締役 住田 浩	変わる勇気と変える情熱

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

INPIT香川県知財総合支援窓口の紹介

INPIT香川県知財総合支援窓口では、中小企業等が抱える様々な経営課題について、自社のアイデア、技術、ブランド、デザインなどの「知的財産」の側面から解決を図ります。また、より専門的で高度な支援が必要な相談には、弁理士、弁護士等の専門家や様々な支援機関と連携して、協働して支援を行っておりますので、知的財産に関するお困りごとがございましたら、①「知財総合支援窓口(常設)」、②「臨時窓口」、③「窓口派遣専門家相談会」をお気軽にご利用ください。

①知財総合支援窓口(常設)

- 場 所** 高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1階
(公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部内)
- 開設時間** 月～金 8:30～12:00 13:00～17:15
(土日祝、年末年始(12/29～1/3を除く))
- 申込先** 香川県知財総合支援窓口 TEL.087-802-3650

支援担当者の紹介



白石 尚人 金川 小百合 長尾 正美 重田 賢一

②臨時窓口

- 高松市**
- 開催場所** 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワータワー棟4階・5階情報通信交流館
(e-とびあ・かがわ)内 Setouchi-i-Base(セトウチ-アイ-ベース)
- 開設時間** 10:00～17:00
- 申込先** 香川県知財総合支援窓口 TEL.087-802-3650
- 令和6年10月、11月の開設日** 10月4日(金)、11日(金)、25日(金)、11月1日(金)、8日(金)、15日(金)、22日(金)、29日(金)
- 小豆島町**
- 開催場所** 小豆郡小豆島町片城甲44-95 小豆島町役場本館1階打合室2
- 開設時間** 10:30～16:00
- 申込先** 小豆島町商工観光課 TEL.0879-82-7021
- 令和6年10月、11月の開設日** 10月9日(水)、11月13日(水)
- 丸亀市**
- 開催場所** 丸亀市大手町二丁目4番11号丸亀市市民交流活動センターマルタス
- 開設時間** 9:00～16:00
- 申込先** 香川県知財総合支援窓口 TEL.087-802-3650
- 令和6年10月、11月の開設日** 10月21日(月)、11月18日(月)
- 三豊市**
- 開催場所** 三豊市三野町下高瀬2014-1三豊市商工会(インパルみの)
- 開設時間** 13:00～17:00
- 申込先** 三豊市産業政策課 TEL.0875-73-3012
- 令和6年10月、11月の開設日** 令和6年10月、11月の開設日 10月15日(火)、11月19日(月)

③窓口派遣専門家相談会

- 開催場所** 高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1階
- 開設時間** 13:30～16:30
- 申込先** 香川県知財総合支援窓口支援担当者
TEL.087-802-3650
- 令和6年10月、11月の開催日**
- 10月3日(木)京和 尚 弁理士(特許・実用新案)
10月10日(木)藤原 敬子 弁理士(商標・意匠・著作権)
10月17日(木)山内 康伸 弁理士(特許・実用新案)
10月24日(木)滝口 耕司 弁護士
11月7日(木)洲崎 竜弥 弁理士(商標・意匠・著作権)
11月14日(木)京和 尚 弁理士(特許・実用新案)
11月21日(木)藤原 敬子 弁理士(商標・意匠・著作権)
11月28日(木)植野 剛 弁護士

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 INPIT香川県知財総合支援窓口
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-802-3650 FAX.087-867-9365

海外ビジネス人材育成講座

海外展開で忘れてはならない知的財産 ～活用とリスク対策のポイント～

ジェトロ香川と香川県は、香川県がジェトロ香川内に設置した「香川県海外ビジネス展開促進センター」の取り組みの1つとして「海外ビジネス人材育成講座」を実施しています。

今回は(公財)かがわ産業支援財団、独立行政法人 工業所有権情報・研修館(INPIT) 香川県知財総合支援窓口と共催で、海外展開においても重要な知的財産について、活用とリスク対策のポイントを、専門家が実例を交えながら、わかりやすく解説します。

セミナー後、希望者を対象に

INPIT香川県知財総合支援窓口による個別相談会も行います(無料)。

※当セミナーは、香川県内に事業所を有する企業・団体・個人が対象です。

開設時間 2024年10月18日(金)14:00～15:40

講師 能川 勝男氏

独立行政法人 工業所有権情報・研修館(INPIT)
知財戦略部 知財戦略エキスパート



国内機械製造メーカーにおいて、知的財産に関する出願、契約、模倣対策、技術情報管理等の実務に従事。

その間、中国(北京)の現地法人で知財組織の設立、模倣対策等の実務と指揮監督。

また、日本台湾交流協会(台北)にて、台湾にビジネス展開を検討している日本企業への支援実務を経験。

工業所有権情報・研修館(INPIT)にて海外知的財産プロデューサーとして企業支援等に従事した後、2024年4月より現職(知財戦略エキスパート)。

会場 香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室(高松市林町2217番地15号)

費用 参加料無料

定員 30名(先着順)

主催 ジェトロ香川、香川県、(公財)かがわ産業支援財団、INPIT香川県知財総合支援窓口

お申込み https://www.jetro.go.jp/cust/resource/act/login_guide?actId=B0068286G

QRコードより
お申し込みいただけます。



申込締切

2024年
10月17日(木)
12時

お問い合わせ先

ジェトロ香川(担当:大北、白井)
TEL.087-851-9407 メール.kgw@jetro.go.jp

国際取引相談窓口の紹介

国際ビジネスに精通した経験豊富な専門家が、香川県内に事務所のある企業等の海外事業展開についての御相談に応じます。訪問相談はもちろん、オンライン相談も受け付けております。

国際取引支援アドバイザーの紹介

久保 克己氏

MCPクオリア株式会社代表取締役
専門分野は、食料・食品の生産者・製造者・販売者への輸出入を含むマーケティング活動



座間 安紀夫氏

株式会社ハートクオリア代表取締役
専門分野は、産業機械、化学品関連(医薬・医療関連を含む)、IT、IoT・AI関連、教育関連



国際取引
相談申込フォーム



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 海外展開支援室
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

「知財マッチングinかがわ 2024」参加者の募集

大企業等が保有する開放特許を活用して県内企業の新商品開発や新たな事業展開を図るため、「知財マッチングinかがわ2024」を開催し、大企業等との知財マッチングの機会を提供します。

日時 令和6年11月21日(木) 10:00~16:00

会場 香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室 他

より多くの面談を実施するため、11月22日(金)から12月20日(金)までの期間においても、個別に日程調整し面談を実施することが可能です。(期間外も随時実施)

面談期間 令和6年11月22日(金)~12月20日(金)までの期間(期間外も随時実施)

申込書、及びシーズ一覧は2次元コードをご覧ください。

【シーズ提供企業等】

★今年度新たにシーズ提供頂いた企業

【一般企業】

- 株式会社イトーキ
- 一般財団法人NHK財団
- ★資生堂株式会社
- トヨタ自動車株式会社
- 日産自動車株式会社
- ★日本アビオニクス株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- パナソニックIPマネジメント株式会社
- 富士通株式会社

- ★ライオン株式会社
- ★ランデックス工業株式会社
- 株式会社リコー
- 関西電力株式会社
- 九州電力株式会社
- 中部電力株式会社
- 四国計測工業株式会社
- 株式会社四国総合研究所

【食品関連企業】

- 株式会社レアスウィート

【公設試験研究所等】

- 国立研究開発法人産業技術総合研究所
- 国立大学法人徳島大学
- 国立高等専門学校機構香川高等専門学校

申込書



シーズ一覧



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-869-9004 FAX.087-867-9365

「令和6年度 関西・四国合同広域商談会」受注企業の募集

関西・四国・鳥取県の11府県合同で開催する「関西・四国合同広域商談会」に参加を希望する受注企業を募集します。(10月中旬から募集開始予定)

【開催概要】

商談方法 対面での直接面談方式(今年度はオンライン方式の商談会は実施いたしません。)

会期 令和7年2月13日(木)、14日(金)

会場 京都パルスプラザ2階(京都ビジネス交流フェア2025会場内)

【参加対象】

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、鳥取県に拠点をもち、発注企業の求める技術に対応できる中小企業
450社程度



昨年度の様子

【募集方法】

申込方法: 京都産業21 ホームページ内の「関西・四国合同広域商談会」ページよりお申し込みください。
<https://www.ki21.jp/matching/exhibition/shodankai/>



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

かがわ糖質バイオフォーラム第16回シンポジウムの参加者募集

かがわ糖質バイオフォーラムでは、糖質バイオ分野における産学官の人的ネットワークの拡大と最新の研究・商品開発の情報発信を行うため、「かがわ糖質バイオフォーラム第16回シンポジウム」を開催します。今回のテーマは「希少糖とウェルネス」です。シンポジウムには、事前申込によりどなたでも参加できます。糖質バイオ分野に興味・ご関心のある方はぜひご参加ください。

【開催概要】

日時 令和6年10月30日(水)13:00～16:00
場所 かがわ国際会議場
 (高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー タワー棟6F)

【第1部 講演】

演題 「サルコペニア予防に向けたタンパク質摂取と運動の実践」
講師 立命館大学
 スポーツ健康科学部 教授 藤田 聡 氏

【交流会:パネル展示・コーヒープレイク】

【第2部 講演】

日時 「コンディショニングスペシャリストからみた糖質の可能性」
講師 桑原塾 主宰 桑原 弘樹 氏

【申込方法】

下記のWebフォームからお申し込みください。
<https://kagawa-isf.form.kintoneapp.com/public/kg-symposium>



第15回シンポジウムの様子



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
 高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

微細構造デバイス研究開発フォーラム令和6年度セミナー・見学会の参加者募集

微細構造デバイス研究開発フォーラムでは、「新しいセンシングデバイスが拓く未来社会」をテーマに令和6年度セミナー・見学会(2部制)を開催します。事前申込によりどなたでも参加できますので、皆様の御参加をお待ちしております。

【開催概要】

日時 令和7年1月29日(水)13時30分～16時50分
場所 香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室
 ※第1部 セミナーはオンラインでも参加できます

第1部 微細構造デバイス研究開発フォーラムセミナー

講演① 「マルチモーダルセンサの開発と社会実装」
講師 豊橋技術科学大学次世代半導体・センサ科学研究所
 所長・教授 澤田 和明 氏

講演② 「美容家電の開発について ～新しいセンシングデバイスへの期待～」
講師 パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社
 ビューティ・パーソナルケア事業部
 ビューティ商品部 ヘアケア技術開発課 課長 松井 康訓 氏

第2部 微細構造デバイス研究開発設備(FROM香川メカトロ研究室)見学会

講師 微細構造デバイス研究開発フォーラム 会長
 一般社団法人電気学会 四国支部長
 香川大学 微細構造デバイス統合研究センター センター長・教授
 高尾 英邦

【申込方法】

下記のWebフォームからお申し込みください。
 第1部(セミナー)または第2部(見学会)のみへの参加も可能です。
<https://kagawa-isf.form.kintoneapp.com/public/device-moushikomi>



令和5年度セミナーの様子



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
 高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

From Kagawa! A Company that is Energetic!



かがわ発!

元気創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発! 元気創出企業」。

今回は、高松市にある「夢菓房たから」を訪ねました。



アルロースを用いたお菓子として県内初の機能性表示食品「もえどら」。届出手続き等を支援したのは、かがわ産業支援財団が設置する「新機能性表示食品開発相談センター」

香川の代表的和菓子「たからのいちご大福」 その躍進を支えるのは菓子づくりへの思い

1936年(昭和11年)、高松市東山崎町にて開業した「たからまんぢう」。祖父、父の代と長く地域に根ざしてきた。現社長である3代目が1993年(平成5年)に京都での修業を終えて帰郷。1997年(平成9年)同場所に新店舗を構えた頃から「いちご大福」が広く注目されるようになり、噂を聞きつけ遠くからもお客様が訪れるように。工場・店舗ともに手狭になり、2006年(平成18年)には現在の春日町本店へと移転オープンした。平日でも大勢のお客様で賑わう繁盛店となるまでの躍進劇について、代表取締役社長・濱田浩二さんにお話を伺った。



2002年(平成14年)には「第24回全国菓子第博覧会」で最高位の名誉総裁賞を受賞した「たから特製いちご大福」

一つひとつ素材を追求し 手間を惜しまない姿勢

今や県内はもとより県外でも多くの人に知られている「たから」の「いちご大福」。みずみずしいいちごを程よい甘さの餡(あん)となめらかな餅で包んだ「夢菓房たから」の代名詞とも言える存在だ。

この「いちご大福」が生まれたのは、3代目である濱田浩二さんが京都での修業を終えて帰ってきた翌年のこと。当時は父母と家族3人で営んでいたが、修行先で専門的な技術から生まれる味と見た目、レベルの高いお菓子を見てきた浩二さんは、10年後の生き残りを考えるように。まず修行先でそうしてきたように、こし餡や白餡を自家製に変更することにした。餡づくりは設備も必要になる上、かなりの労力がかかるため、製餡から手がける店舗は少なく、「たから」も創業時からつぶ餡は店舗で炊いていたものの、こし餡や白餡は仕入れていた。「大変だから長続きしないよ」とも言われたが、だからこそ価値があると感じた浩二さん。「つぶ餡、こし餡、白餡。どの餡にもその餡にあわせた素材と炊き方があります。自家製餡に切り替えることで素材を一つひとつ吟味でき、納得のいく炊き方ができる。それこそが価値につながると考えた」。ちょうど中古の製餡機が手に入ったこともあり、自家製餡へと切り替えた。



株式会社 夢菓房たから

代表者 濱田 浩二氏
所在地 高松市春日町214
電話番号 087-844-8801
<https://e-takara.jp/>

代表取締役
濱田 浩二 氏



お客様に飽きずに来ていただくには、百貨店のようなラインナップが大切との思いから、数多くの商品を提供。総商品数は「SNSで1日1商品紹介しても1年では取まらない」とか



2022かがわ県産品コンクールで優秀賞に輝いた「讃岐のオリーブ新漬けおこわ」も、機能性表示食品として認定



祖父から受け継がれ、父・齊(ひとし)さんが主となってつくってきたのが「三笠まんじゅう」。その創業当時の味わいを受け継ぐ「栗みかさ」



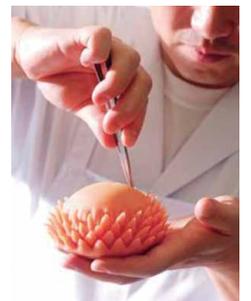
仕上がったお菓子を見るだけで、つくり手の誰がつくったかすぐにわかるとか。いいつくり手を育てることをとても大切にしている



季節ごとに美味しい旬の果実を包み込むフルーツ大福。短い期間しか味わえないものも多いが、いずれもわざわざ訪れて食べたくなる魅力あり



森の中に行きむよなお店にしたいという思いで、店舗の外には植栽やベンチを配した自然豊かな庭を併設している。



生産効率を上げるため機械化を進める一方で、人の手でしかできないことが多いのが和菓子の世界。魂を込めて、丁寧に手仕事を続けている

先見の明と専門性で 生み出した看板商品

「首都圏などでいちご大福がつくられるようになったのは昭和60年代。私が修業していた頃には、修業先である京都の和菓子店「与楽」でも大ヒットしていたんです。香川に帰ったら、いちご大福を商品化しようと、京都でもさまざまな店を食べ歩いて、理想のいちご大福をイメージしていました」。自家製餡に切り替えたことで、いちご大福にピッタリの餡をつくることができ、また浩二さんが戻るまでは洋菓子も手がけていたことから、お菓자에適しいちごも手に入る。そんな環境から1994年(平成6年)「いちご大福」は誕生した。とはいえ、その頃は和菓子店の季節商品の一つでしかなかったという。

だが、3年後の1997年(平成9年)、店舗改装と同時に状況は一変。手狭になった店舗を建て替えることになり、アルバイトに来ていた美大生に新装オープンのお知らせを依頼したところ「いちご大福」も合わせてPR。すると、それをきっかけに遠方のお客様にも次々と訪れてくれるようになった。さらに人気を後押ししたのが「すもも大福」をはじめとする「フルーツ大福」だった。バリエーション豊富なフルーツ大福はいずれも人気となり、現在では季節限定合わせて30種類を超えているという。

いい素材を使うこと、 そして心を込めること

一方で、またたく間に人気店となったことから駐車場の確保と工場スペースの拡張が必要な状況となった。「移転までは考えていなかった」というが、お客様が増えれば増えるほど課題は大きくなってきた。東山崎町の店舗周辺で土地を探したものの、ちょうど良い場所が見つからない。そんな中で出会ったのが、現在の高松市春日町本店が建つ土地。あまりの広さに一度は躊躇したものの移転を決意し、2006年(平成18年)オープンした。

それから18年。スタッフはパートアルバイトを合わせて83人になった。春日店は2度の改装による拡張を行い、平成21年には春日町本店の横に位置する自社農園でぶどう栽培もスタートした。毎月のように新商品を手がけ、最近では時代にあわせ機能性表示食品の認定を受けた商品も開発している。その裏には、素材の吟味と製法へのこだわりという、菓子づくりに没頭した若き修業時代に師匠から学んだ教を今も実直に受け継ぐ、浩二さんの姿勢がある。「どうしてもあのお菓子が食べたいと思って遠方からでも来てもらえるように」。伝統を大切に守りつつ、一つひとつ手の温もりとともに常に新しい驚きを届けてくれる「たから」の和菓子は、時代に合わせてこれからも進化し続ける。

下請かけこみ寺事業の紹介

下請かけこみ寺は、下請取引の適正化を推進することを目的として国が、公益財団法人全国中小企業振興機関協会(本部)と全国47都道府県の中小企業振興機関に設置した相談機関です。中小企業・個人事業主・フリーランスの皆さんが事業者間取引で抱える悩みについて、ご相談ください。

- 相談窓口** 当財団では、企業振興部取引支援課内に『下請かけこみ寺』相談窓口を設置し、相談員が親身になって適切な助言を行うほか、必要に応じて、弁護士無料相談やADR(裁判外紛争解決手続)等の紹介を行います。相談は電話等又は直接窓口で受付ています。
- 相談日時** 毎週月・火・木・金曜日 9:00~12:00、13:00~17:00(祝祭日・年末年始を除く)
- 相談連絡先** フリーダイヤル 0120-418-618
- 詳細のリンク先** <https://www.zenkyo.or.jp/kakekomi/index.htm>



中小企業 個人事業主 フリーランス
の皆さん

抱えていませんか? 取引上の悩み

- 代金の未払い
- 支払いの遅延
- 不当なやり直し
- 知財の侵害・保護
- 受取拒否
- 返品
- 値引き

下請かけこみ寺 にご相談ください!

「下請かけこみ寺」では、中小企業・個人事業主・フリーランスの皆さんが抱える取引上の悩み相談をお受けします。問題解決に向けて、専門の相談員や弁護士がアドバイスを行います。

悩んだらここに相談を!

下請かけこみ寺
<https://www.zenkyo.or.jp/kakekomi/index.htm>

相談料 全国47都道府県 無料
相談時間 受付時間 0120-418-618

公益財団法人 全国中小企業振興機関協会

無料相談(相談員・弁護士)

- 支払期日を過ぎても代金を払ってくれない。
- お得意さんからキャンセルされたので、部品が余ってしまったらどうしていいかわからない。
- 長年取引をしていて発注死から突然取引を停止された。

調停による紛争解決手続(ADR)

- 紛争当事者間の取組の調停を行います。
- 調停に費やした費用は発生しません。当事者以外には秘密が守られます。
- 当事者が同意すれば、自由に調停終了・再開等が決められます。

消費税率の転嫁等に係る取引上の相談にしています。

消費税率転嫁等に関するご相談はこちら
0120-300-217

全都道府県に下請かけこみ寺を設置しています。

本部(公益財団法人全国中小企業振興機関協会)	03-5541-6555	(岩手) 岩手県産業支援センター	0776-67-7420
(宮城) 宮城県産業支援センター	011-222-2438	(秋田) 秋田県産業支援センター	077-51-1413
(山形) 山形県産業支援センター	0177-75-3234	(新潟) 新潟県産業支援センター	075-516-8900
(福島) 福島県産業支援センター	019-631-3822	(富山) 富山県産業支援センター	06-648-1144
(茨城) 茨城県産業支援センター	029-225-6537	(石川) 石川県産業支援センター	076-977-8109
(栃木) 栃木県産業支援センター	018-800-5622	(福井) 福井県産業支援センター	0742-38-3311
(群馬) 群馬県産業支援センター	028-647-0962	(山梨) 山梨県産業支援センター	076-832-3412
(埼玉) 埼玉県産業支援センター	024-525-4077	(長野) 長野県産業支援センター	0857-62-6703
(千葉) 千葉県産業支援センター	029-670-2603	(岐阜) 岐阜県産業支援センター	086-403-1114
(東京都) 東京都産業支援センター	027-285-0271	(愛知) 愛知県産業支援センター	086-206-9870
(神奈川) 神奈川県産業支援センター	048-647-4098	(三重) 三重県産業支援センター	089-340-1703
(新潟) 新潟県産業支援センター	025-246-0056	(滋賀) 滋賀県産業支援センター	083-402-3722
(富山) 富山県産業支援センター	029-227-5013	(京都) 京都市産業支援センター	089-854-0101
(石川) 石川県産業支援センター	025-246-0056	(大阪) 大阪府産業支援センター	099-34-4416
(福井) 福井県産業支援センター	025-246-0056	(奈良) 奈良県産業支援センター	089-520-8390
(山梨) 山梨県産業支援センター	025-246-0056	(和歌山) 和歌山県産業支援センター	096-289-4477
(長野) 長野県産業支援センター	026-277-1082	(徳島) 徳島県産業支援センター	087-534-3300
(岐阜) 岐阜県産業支援センター	059-225-7263	(高松) 高松市産業支援センター	087-824-3800
(愛知) 愛知県産業支援センター	076-444-9522	(香川) 香川県産業支援センター	089-219-1274
(三重) 三重県産業支援センター	076-267-1219	(高知) 高知県産業支援センター	088-869-0237

相談料については、上記のリンク先において詳細が記載されています。また、ホームページからお問い合わせいただけます。

下請かけこみ寺
<https://www.zenkyo.or.jp/kakekomi/index.htm>

相談料 全国47都道府県 無料
相談時間 受付時間 0120-418-618

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

かがわ産業支援財団 Facebookの紹介

これまでホームページやかがわ産業情報21等で、当財団が実施する事業等の情報発信を行ってきましたが、より多くの方に情報を発信できるよう、Facebookによる情報発信を始めました。「公益財団法人かがわ産業支援財団Facebookアカウント運用ポリシー」を御確認のうえ、下の二次元コードからページをご覧ください。ぜひフォロー、「いいね!」をお願いします。

公益財団法人かがわ産業支援財団
Facebookアカウント運用ポリシー

<https://www.kagawa-isf.jp/facebook/>



かがわ産業支援財団
Facebook

<https://www.facebook.com/kagawa.isf>



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9901 FAX.087-869-3710 メール.kikaku@kagawa-isf.jp

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F
総務課
TEL.(087)840-0348 FAX.(087)869-3710
施設管理課
TEL.(087)869-3700 FAX.(087)869-3703
企画情報課
TEL.(087)868-9901 FAX.(087)869-3710
ファンド事業推進課
TEL.(087)868-9903 FAX.(087)869-3710

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F
企業支援課
TEL.(087)840-0391 FAX.(087)869-3710
取引支援課・海外展開支援室
TEL.(087)868-9904 FAX.(087)869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16
FROM香川1F
産学官連携推進課・研究開発支援課
TEL.(087)840-0338 FAX.(087)864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-43
RISTかがわ1F
研究管理課・研究開発課
TEL.(087)869-3440 FAX.(087)869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F
知的財産支援課
TEL.(087)867-9332 FAX.(087)867-9365
知的財産普及課
TEL.(087)869-9004 FAX.(087)867-9365



印刷:香川印刷株式会社